

# CASBEE-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)NTB京都宮津 新築工事	階数	地上5F
建設地	京都府宮津市宇新浜1994番、字魚	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	S地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年6月24日
敷地面積	1,286 m <sup>2</sup>	作成者	積水ハウス株式会社
建築面積	760 m <sup>2</sup>	確認日	2019年6月24日
延床面積	3,438 m <sup>2</sup>	確認者	積水ハウス株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
① 参照値  
② 建築物の取組み  
③ 上記+②以外の  
④ 上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・リサイクル材、節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮している。		その他
<b>Q1 室内環境</b> ・客室は、細かな点滅区分計画により、照明の制御性に配慮している。 ・客室内の空気質を良好に保つため、十分な換気量を確認した計画をしている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・ゆとりある天井高を確保することにより、居住者の快適性に配慮している。 ・耐用年数の長い配管材を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・外構を積極的に緑化することにより、良好な景観形成、生物環境の創出を図っている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材の使用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・深夜の滅灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される